

METI-RIETIシンポジウム

# 大震災からの復興と新しい成長に向けて

プレゼンテーション資料



澤田 康幸

RIETIファカルティフェロー  
東京大学大学院経済学研究科教授

2013年3月22日

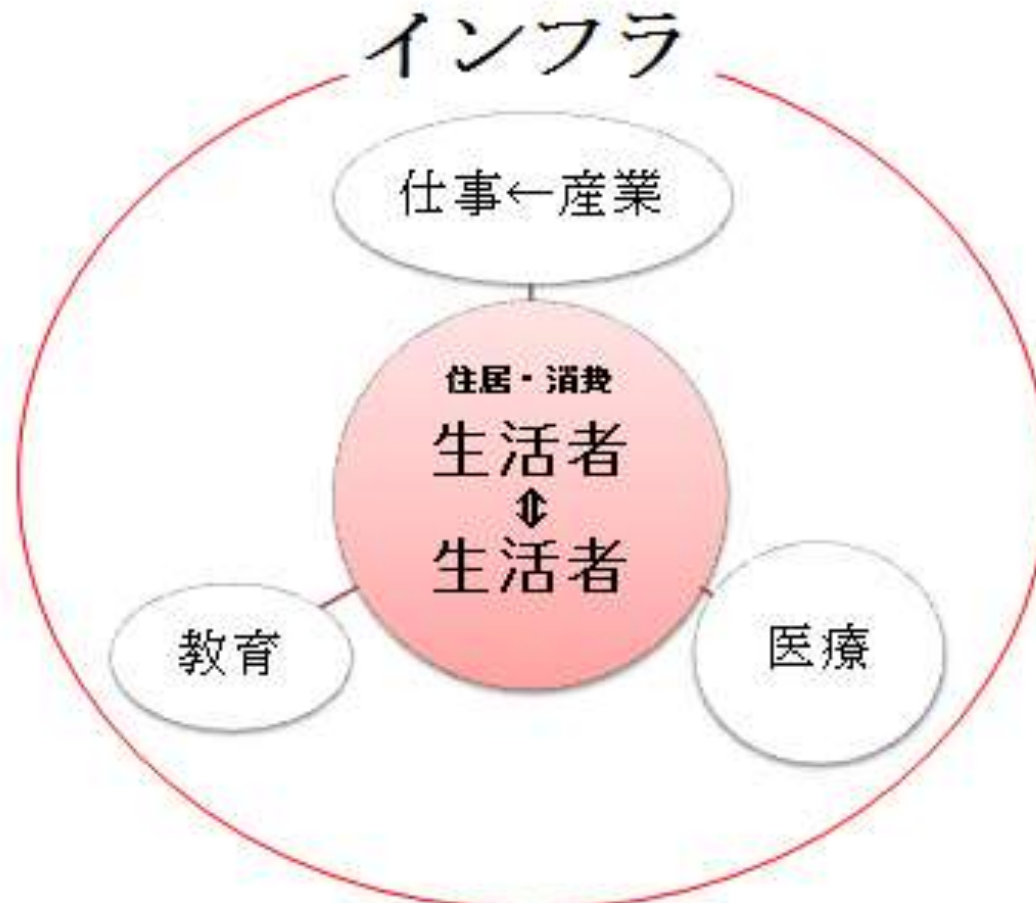
METI-RIETI シンポジウム  
大震災からの復興と新しい成長に向けて  
2013年3月22日

# 生活の復興を考える

澤田康幸  
東京大学

# 生活の復興を考える

- 全ての復興努力は、**生活者の目線**に還元されるべき
  - 総合研究開発機構 (NIRA) 「東日本大震災復旧・復興インデックス」  
データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)  
<[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>
  - 「くらしと健康の調査 (JSTAR)」 仙台・震災被害実態調査  
<<http://www.rieti.go.jp/jp/projects/jstar/index.html>>



# NIRA 東日本大震災復旧・復興インデックス

出所) 総合研究開発機構 (NIRA) 「データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)」  
<[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>

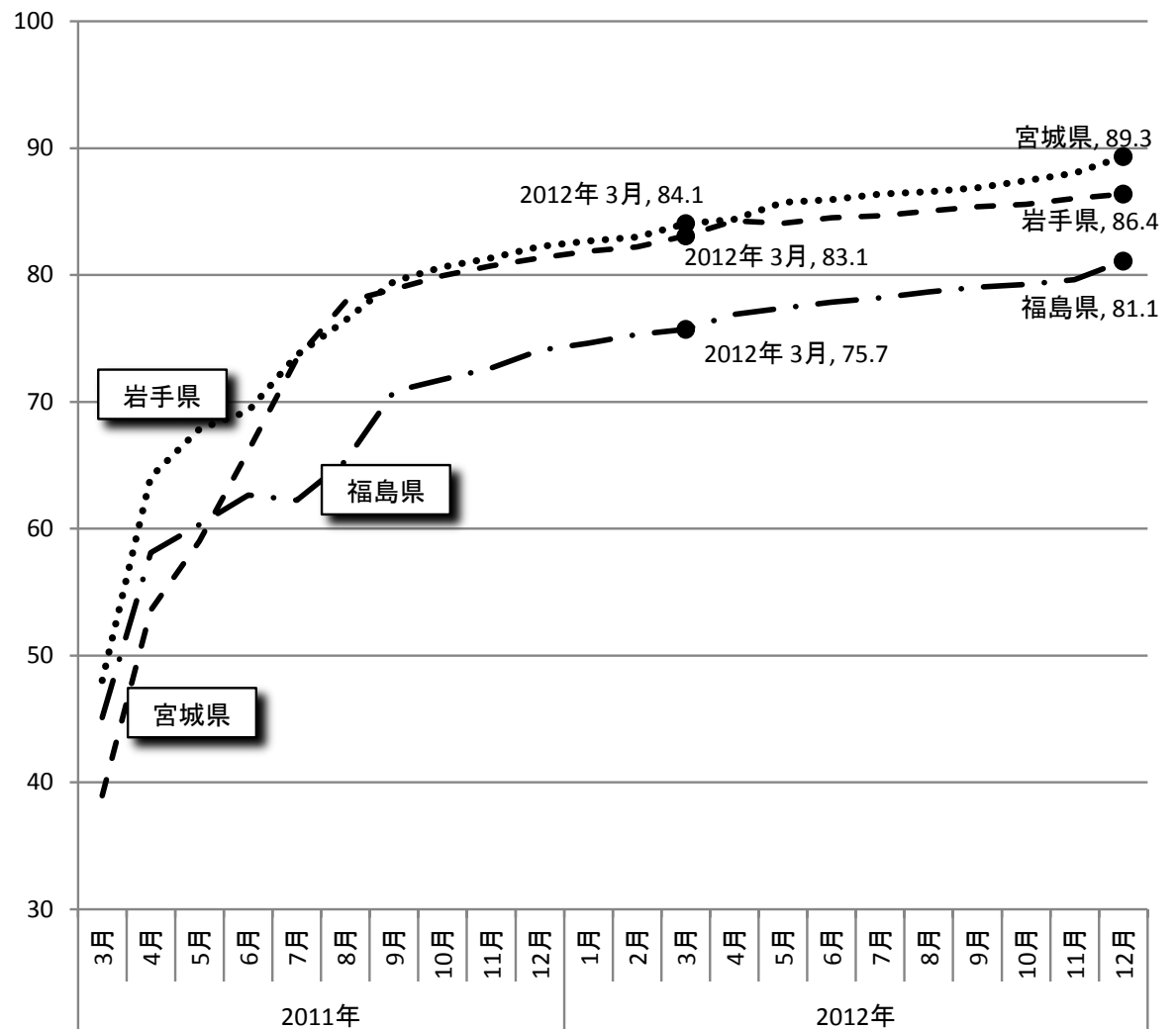
## ● 「生活基盤の復旧状況」 指数

➤ 被災地での生活を支えるインフラについて、震災前の状況を100とした時の総合的な復旧度を示すもの

➤ 構成要素：

①避難所避難者数の対人口比、②県内・県外避難者数の対人口比、③応急仮設住宅入居率、④小・中学校施設の被災からの修復状況、⑤電力復旧度、⑥ガス復旧度、⑦鉄道復旧度、⑧道路復旧度、⑨被災医療施設(病院)数の対震災前施設数比、⑩被災医療施設(診療所)数の対震災前施設数比、⑪瓦礫撤去率、⑫瓦礫処理率、⑬他自治体からの支援、⑭義援金支払済率、⑮保険金・共済金支払済率、⑯貸出金の対被害総額比、⑰コンビニ店舗数の対震災前店舗数比

※①、②、④及び⑬はマイナスに寄与(比率の値が小さいほど100に近くなるように数値化)



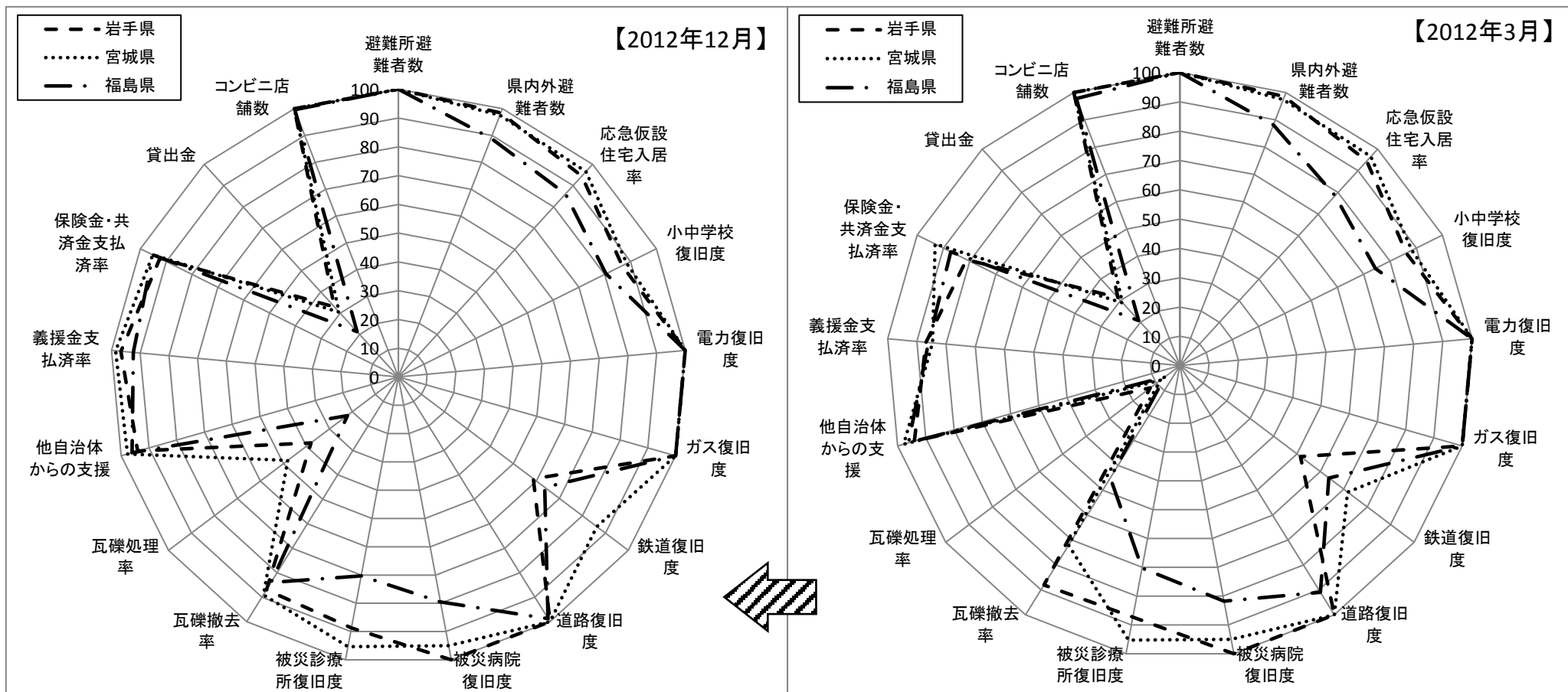
# NIRA 東日本大震災復旧・復興インデックス

出所) 総合研究開発機構 (NIRA) 「データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)」

<[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>

## ● 「生活基盤の復旧状況」 指数

➤ 指数の各構成指標の状況(2012年3月と12月の比較、震災前=100)

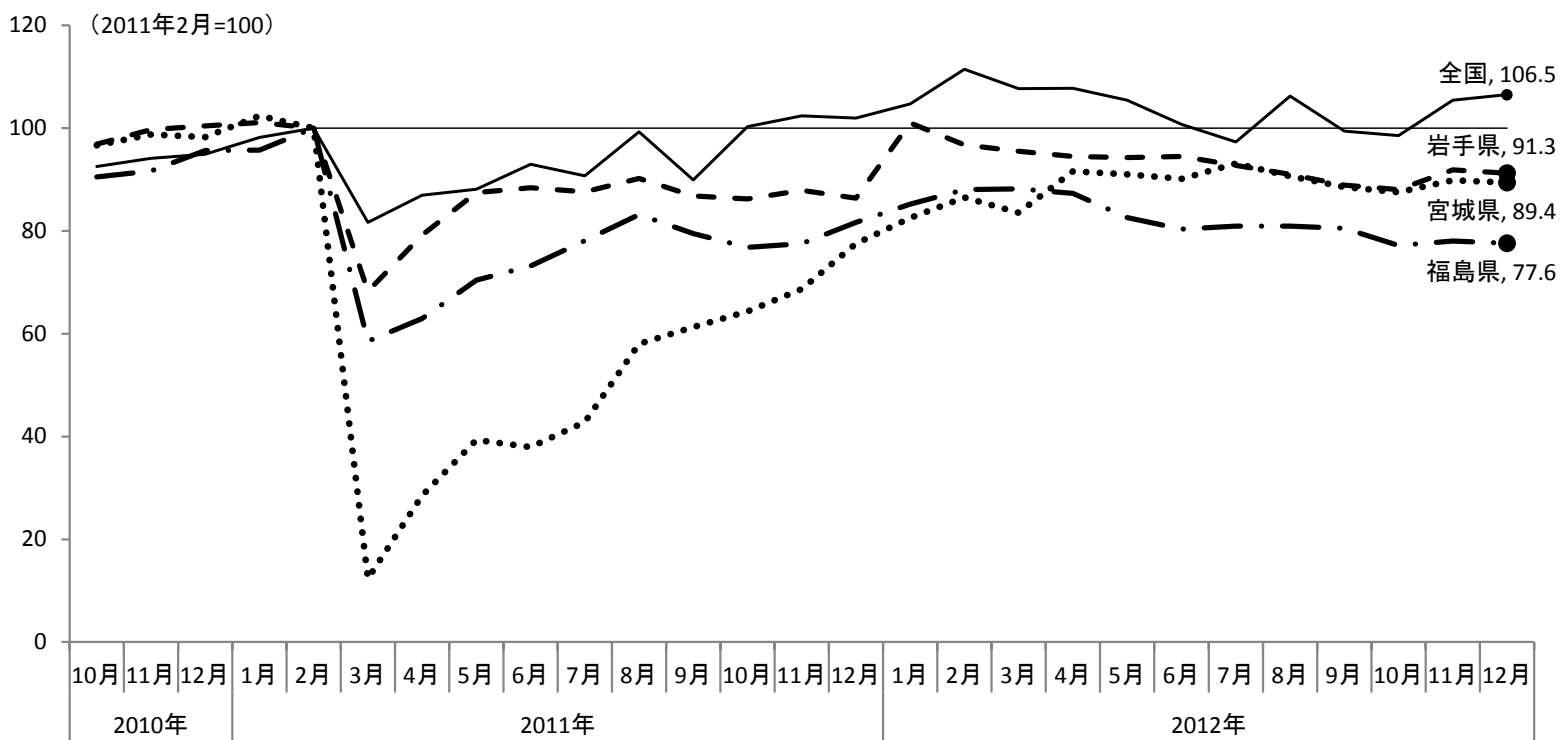


# NIRA 東日本大震災復旧・復興インデックス

出所) 総合研究開発機構 (NIRA) 「データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)」  
<[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>

## ● 「人々の活動状況」 指数

- 被災した人々やその地域の生産・消費・流通などの状況に着眼し、震災により地域の活動がどの程度影響を受け、その後の復旧・復興の程度を時系列で把握できるようにしたもの
- 指数の各構成指標の状況(2012年3月と12月の比較、震災前=100)
- 構成要素：①青果物卸売市場取引量、②有効求職者数、③診療報酬支払額、④水揚量、⑤鉱工業生産指数、⑥大口電力使用量、⑦公共工事請負金額、⑧大型小売店販売額、⑨着工新設住宅戸数、⑩事業所倒産件数、⑪地方空港乗降客数、⑫地方空港貨物取扱量



# NIRA 東日本大震災復旧・復興インデックス

出所) 総合研究開発機構 (NIRA) 「データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)」  
 <[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>

- 「人々の活動状況」 指数
  - 産業活動、震災前水準には未到達

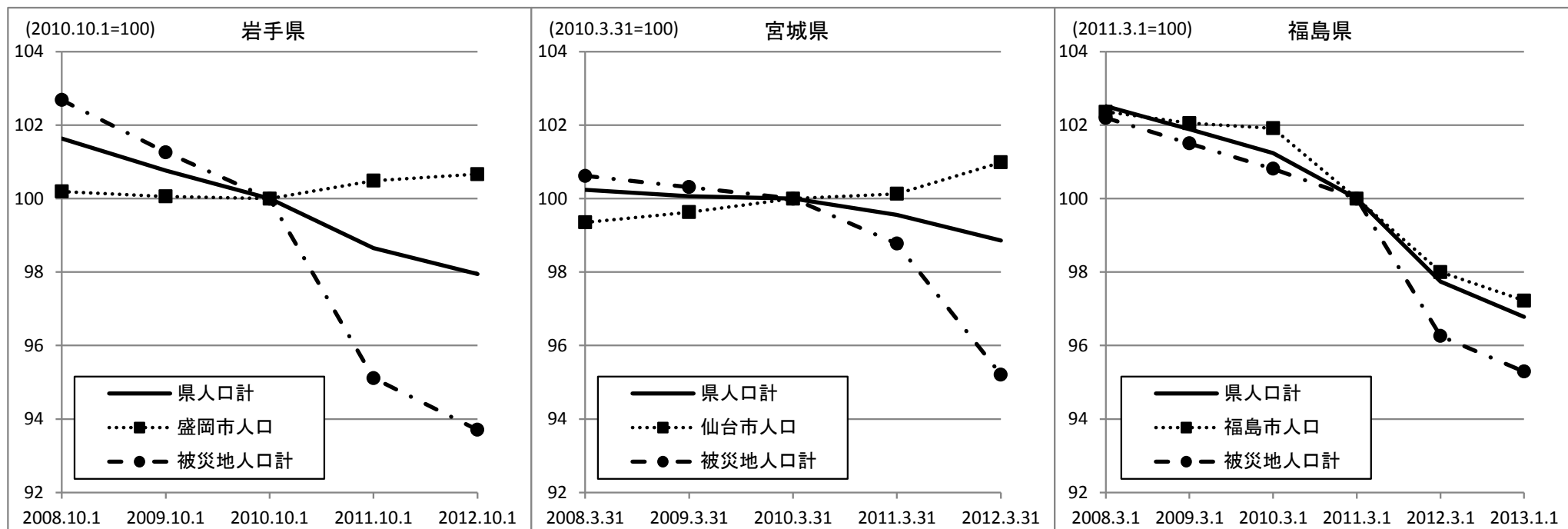
状 況		該当指標	岩手	宮城	福島
消費活動・ 公共事業・ 住宅建設・ 雇用など	2011年までに震災前水準を回復	①青果物卸売市場取引量	————	————	————
		③診療報酬支払額 (注4)	————	————	————
		⑦公共工事請負金額	————	————	————
	2012年に震災前水準を回復	②有効求職者数	(回復)	(回復)	(回復)
		⑧大型小売店販売額	(回復)	————	————
		⑨着工新設住宅戸数	(回復)	(回復)	(回復)
	震災前水準には未到達	⑪地方空港乗降客数	————	改善	(回復)
		⑫地方空港貨物取扱量	悪化	(回復)	————
	産業活動など		④水揚量	悪化	悪化
⑤鉱工業生産指数			悪化	悪化	悪化
⑥大口電力使用量			悪化	悪化	悪化
その他		⑩事業所倒産件数 (件数過小のため、「震災前水準」を設定せず)			

# NIRA 東日本大震災復旧・復興インデックス

出所) 総合研究開発機構 (NIRA) 「データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)」  
<[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>

## ● 生活状況の概観

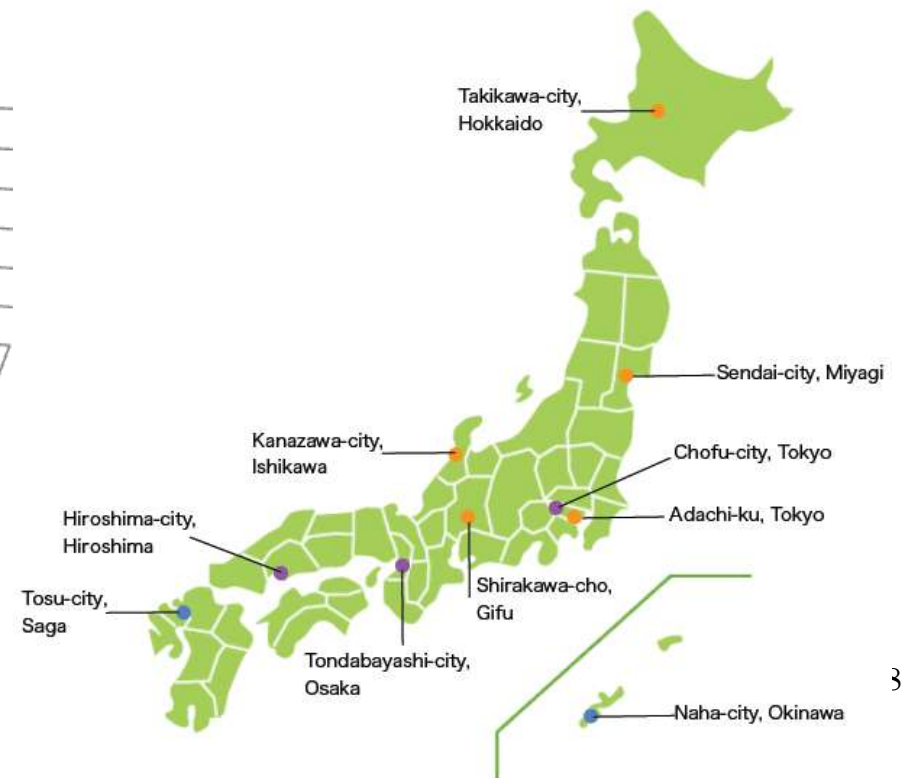
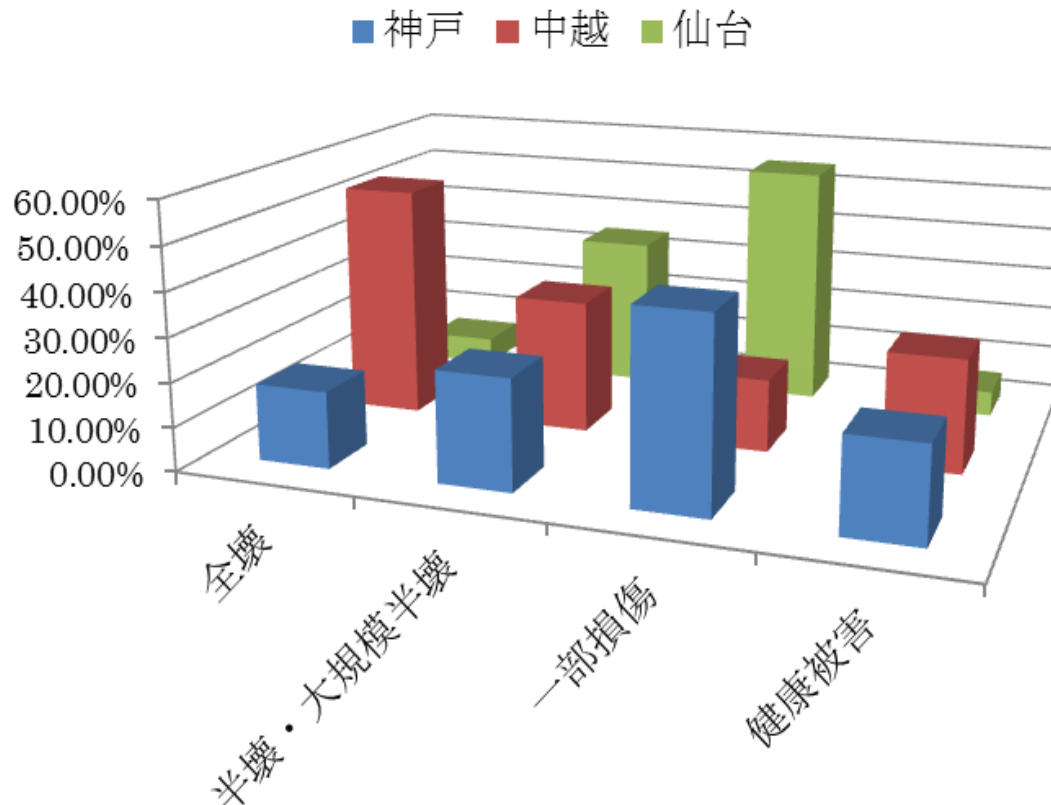
- 人口移動：被災地→県内大都市（高齢者） 福島 20-30代女性転出
- 一人暮らし高齢者の増加
- ストレス：高齢者・女性で悪化
- 雇用：改善





# 「くらしと健康の調査 (JSTAR)」 仙台・震災被害実態調査

- RIETI・一橋・東大実施の **50歳以上中高齢者対象のパネル調査**
  - 2007年第1回調査、2009年第2回調査、2011年第3回調査
  - 現全国10都市カバー、仙台第一回から、11年10月震災実態調査
  - 震災による被害に対して**如何に生活を復興・維持**するか？
- 阪神大震災・中越地震との比較 (Sawada and Shimizutani, 2008; Ichimura, Sawada, and Shimizutani, 2007)

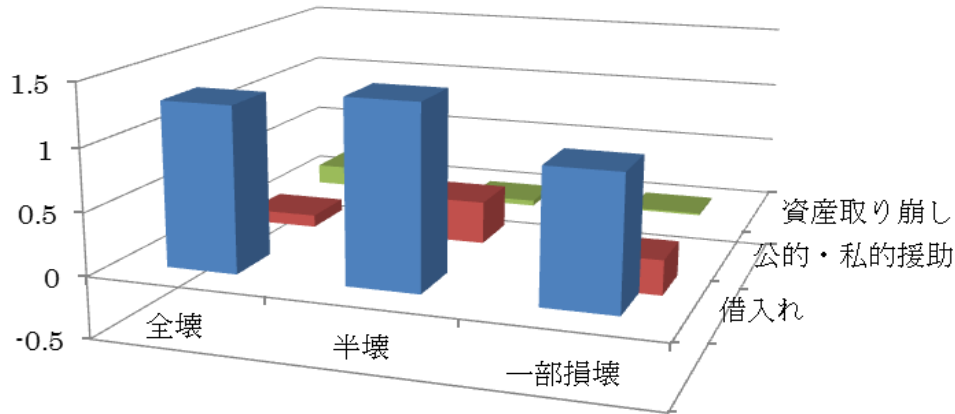


# 「くらしと健康の調査 (JSTAR)」 仙台・震災被害実態調査

## ● 被害に対する人々の対処法

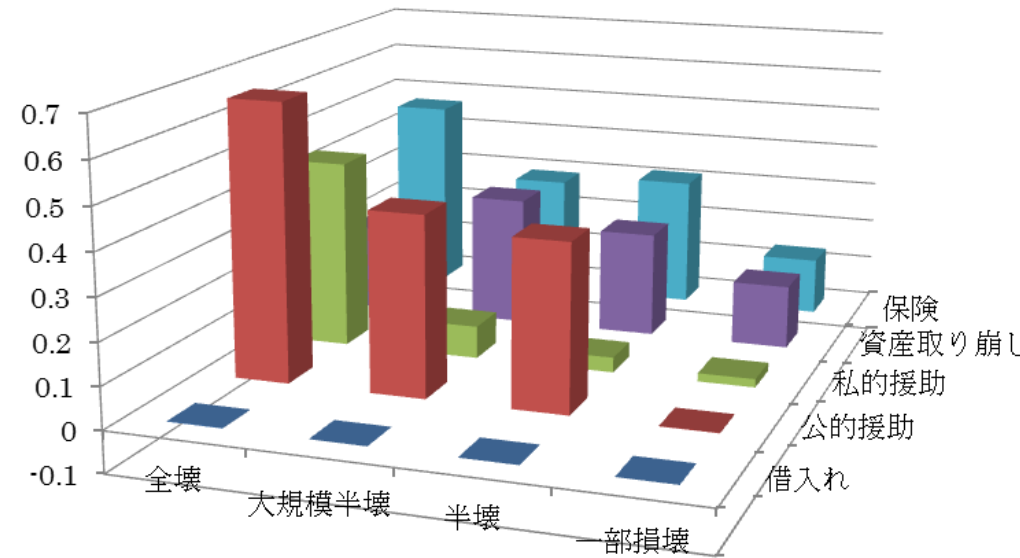
阪神淡路大震災

■ 借入れ ■ 公的・私的援助 ■ 資産取り崩し



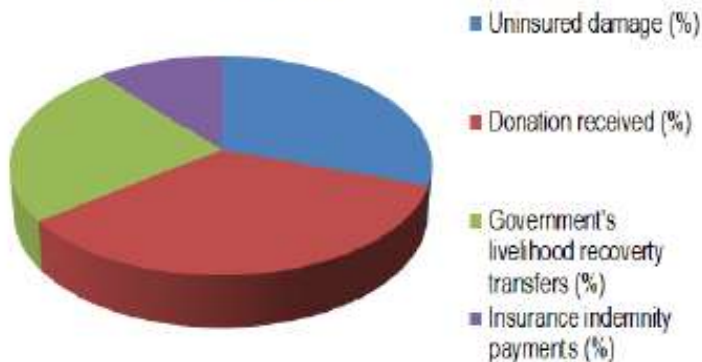
東日本大震災 (仙台)

■ 借入れ ■ 公的援助 ■ 私的援助 ■ 資産取り崩し ■ 保険

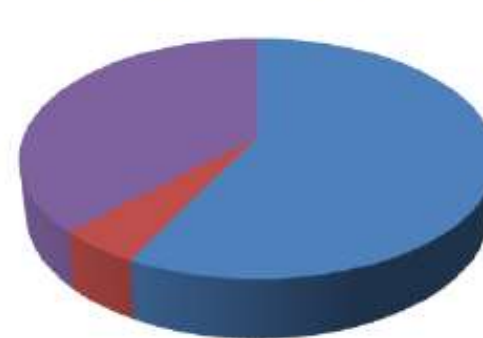


中越地震

Major housing damage



Moderate housing damage



# 「くらしと健康の調査（JSTAR）」 仙台・震災被害実態調査

- 論点：自助・共助・公助のバランスと総効果・中長期の見守り
  - 融資・住宅再建
  - 地震保険

	阪神淡路大震災	中越地震	東日本大震災
地域の特徴	大都市	中山間村	都市・漁村・(半農半漁)
経済の特徴	製造業・サービス業	第一次産業・非農業	漁業・農業・非農業
コミュニティの結束	弱い	強い	中程度～強い
被害	人的被害・物的被害	物的被害	人的被害・物的被害

義捐金	小（全壊一次=10万）	大（全壊一次=200万）	中？
地震保険・共済	小	大	大？
公的な現金給付	小	大（生活再建支援金）	大？
公的な現物給付	大	大	大？

自助	大（7割*）	小 - 中	小 - 中？
共助	中（2割*）	大	大？
公助	小 - 中（1割*）	大	大？

\* 林春男（2003）「いのちを守る地震防災学」岩波書店より、初期の数字

## 参考文献

総合研究開発機構（NIRA）「データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ—東日本大震災復旧・復興インデックス(2013年3月更新)」 <[http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308\\_698.html](http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html)>

Ichimura, H., Sawada, Y., and Shimizutani, S. (2007). “Risk Coping against an Earthquake: The Case of Yamakoshi Village.” Paper presented at the International Workshop on Consumption, March 19, 2007, at Hitotsubashi University, Kunitachi.

Sawada, Yasuyuki and Satoshi Shimizutani (2008) "How Do People Cope With Natural Disasters? Evidence from the Great Hanshin-Awaji (Kobe) Earthquake," *Journal of Money, Credit, and Banking* 40 (2-3), 463-488.

Sawada, Yasuyuki and Satoshi Shimizutani (2011) “Changes in durable stocks, portfolio allocation, and consumption expenditure in the aftermath of the Kobe earthquake,” *Review of Economics of the Household* 9 (4), 429-443.

Sawada, Yasuyuki (2013), “The Economic Impact of Earthquakes on Households: Evidence from Japan,” Debarati Guha-Sapir and Indhira Santos, eds., *the Economic Impacts of Natural Disasters*, Oxford University Press.